グリーンたいむ

2010-10月 vol. 118

発行：グリーンコープ生活協同組合くまもと

子育て講演会開催

子育て真っただ中のお母さんを応援します！

グリーンコープでは、安心して子どもを生み育てられる環境、子どもがのびのびと成長できる環境をつくるため、子育て中の母親のレスパイト（息抜き）の視点を大切に、子育てを応援するさまざまな取り組みをしています。

この秋、各地域本部で子育て講演会を開催します。子どもたちがいきいきと育つことができるように、そして子育てが親にとって楽しいものとなるように、今、子育て中の方も、そうでない方も、ぜひ誘い合わせて参加しましょう！

県央東 10/26（火）

県央西 11/29（月）

「心がかぜをひくとき」

心の育ちからみた子どもの理解

講師：臨床心理士　吉村 春生　さん

子育て応援総合情報誌「グープ」の『心のかぜぐすり』でおなじみのブロッコリー先生。小学校教員を経て、現在佐賀県内でスクールカウンセラーとして活動中。西九州大学非常勤講師や地域での講演活動も行っている。

《県央東》時間：10月26日（火）　9：45～12：00
会場：くまもと県民交流館パレア　10F 第１会議室
問い合わせ先：組合員事務局　☎096-389-0134

《県央西》時間：11月29日（月）　9：50～11：30
会場：国際交流会館　５Ｆ洋室
問い合わせ先：組合員事務局　☎096-324-8224

県北 11/10（水）

「命の重さ」

～家族の絆を通して～

講師：フリーアナウンサー
道志 真弓　さん

1965年生まれ。富山県出身、熊本県在住。司会、ナレーター、話し方教室を中心に活動。熊本市人権教育講師。「命の重さ」を多くの方々に知ってほしいと願い、熊本県各地で講演を行っている。

時間：11月10日（水）　10：00～12：30
会場：和水町中央公民館　１Ｆ大会議室
問い合わせ先：組合員事務局　☎0968-72-4644

県南 11/30（火）

「ひとりの人間を育てるということ」

講師：心理カウンセラー
染矢 尚美　さん

1959年生まれ。大分県出身、熊本県在住。結婚・子育て・離婚までの人生のフルコースを経験。崇城大学相談室非常勤カウンセラー、ＤＩ薬局非常勤子育て相談員、家庭裁判所調停員など多くの職業経験を持つ心理カウンセラーとして活動中。

時間：11月30日（火）　10：00～12：00
会場：八代市厚生会館　大集会室
問い合わせ先：組合員事務局　☎0965-34-4211

お問い合わせは、月～金、10：00～16：00にお電話下さい。

グリーンコープの仲間になりました

あなたからのひと声が仲間づくりに！

グリーンコープは、組合員一人ひとりの思いや力をあわせて、「いのちとくらし」を守る取り組みをすすめています。

そんなグリーンコープを身近な人に気軽に紹介して仲間に迎えようと、いろいろな取り組みが展開されています。

加入のきっかけはいろいろ。新しく誕生した仲間と紹介者からメッセージが届きました。

子育て中なので助かります

吉村 秀子さん（県央東）

誘った人　入江 圭絵さん

子育て中の母親たちは、誰もが子どもの食事の安心・安全を気にかけていると思います。吉村さんにも、子育てで忙しい中、お弁当や夕食にも使える安心で、しかも手軽にできる加工食品などを紹介しました。「安心して使えるよー」とマンション中のお友だちに伝えています。

（左側）吉村さん、（右側）入江さん

入江さんとは同じマンション、同じ階に住むご近所さんです。一年生の子どもが同じ小学校ということもあってお付き合いが始まりました。

グリーンコープのことは、今回の出産前から職員さんに「赤ちゃんすくすく個配」への加入を声かけられ、知ってはいたのですが保留していました。その後、入江さんからもお誘いがあり加入。まだ4ヶ月のホヤホヤの組合員です。

子育て中の人にとっては買い物が大変です。特に野菜や液体物など重たいものを運ぶのは大変で、「赤ちゃんすくすく個配」への加入の決め手のひとつとなりました。現在はいろいろな商品をとってみてお試し中です。すでに加入している友だちからも「味噌がいいよ」とか「マーガリンもいいよ」という情報も入り、さっそく注文してみました。

今のところ、子育てで忙しく商品の利用で精一杯ですが、これからいろいろな取り組みにも興味を持っていきたいと思います。

これから いろんなグリーンコープを楽しみます

荒木 歓子さん（県央西）

誘った人　荻迫 美和さん

荒木さんとは中学時代からの同級生です。子どもの食欲やおやつの添加物について話題となり、私も数年前同じ気持ちでグリーンコープに加入したのでお誘いしました。

（右側）荒木さん
（左側）荻迫さん

小さい頃、母もグリーンコープを利用していて、以前から〝少しでも身体にいいものを〟とは思っていました。

子どもの離乳食も終わりとなり、これからの食材やおやつもより安全なものを、と思っているところに友人の荻迫さんから「グリーンコープっていいよ」と紹介され加入しました。また加入前に荻迫さんに誘われて参加した、地区の「アイスクリンづくり」も子どもといっしょに楽しめる企画で、食べものだけじゃないグリーンコープを知ることができたのも良かったと思います。

事前にいただいたサンプルのびん牛乳やたまご、パンは家族に大好評で、日頃少食な息子もパン一枚をもりもりと食べビックリしました。牛乳も主人が一人で全部飲んでしまい、グリーンコープのおいしさを目の当たりにした、という感じです。

初めての配達の日はワクワク。カタログを見るのも楽しみでくまなく見ています。これからグリーンコープとの付き合いを楽しもうと思っています。

地域本部や地区では、まだ組合員ではない人も自由に参加できる企画をいろいろ工夫して開催し、グリーンコープを紹介しています。

（写真は県南地域本部で新しい組合員を対象に開催された「はじめましての会」の様子）

母がしてくれたように

村上 恵美さん（県央東）

誘った人　長友 加代さん

近所に住んでいる村上さん。今までは仕事をされていてお付き合いができませんでしたが、出産を機に、時折“お茶”に誘うような交流が始まりました。安心・安全な商品なので、自信を持っておすすめしました。村上さんの加入で6人班になりました。

◀長友さん

出産したことをきっかけに、ご近所の先輩ママ・長友さんから紹介いただき加入しました。

母が働いていた頃グリーンコープに加入していたので、カタログを見ると懐かしい商品がいっぱい！配達日の毎週月曜日が楽しみになりました。

そんな私のお気に入りは「あらびきハンバーグ」と「おひさまいろのたまご豆腐」です。たまご豆腐は忙しい朝食に、あらびきハンバーグは夕食によく登場します。

子どもはそろそろ離乳食が始まるので、いろいろ食べれるようになったら、おいしいものをたっぷり食べさせたいです。母がしてくれたように、私も母親になったら子どもには安心・安全なものを食べさせたいと思っていたので、「加入してよかったな」と思ってます。

村上さん▶

加入のきっかけはいろいろ…

ご近所の方　お友だちなど　気軽に　ご紹介下さい

グリーンコープ自慢の商品の中から、いずれかを無料でお届けします。

懐かしいグリーンコープ

後藤 幸さん（県央東）

誘った人　山田 恵美さん

高校も職場もいっしょだった後藤さん。同じ地域に越してこられたのを機に地区の「豆腐学習会」にお誘いしてみました。そこで豆腐が気に入り加入へ。カタログでの商品だけではない、グリーンコープの取り組みが紹介できました。これからはいっしょに子育てサークルも楽しみます。

◀山田さん

子どもの頃、母が注文書に記入していたのを思い出しました。変わらない商品のパッケージにとても懐かしくなりました。

そんな私も母となり、同じように家族のためにと、今は注文書を開き記入する毎日です。

今回、友人に誘われ、軽い気持ちで、託児もお願いできるのならと参加した学習会でしたが、口にするものは、やっぱり安全なものがいいと私自身が確信できたことで、購入を始めることになりました。「組合員」へときっかけをつくってくれた友人にとても感謝しています。

初めての学習会が、お豆腐をつくられるまでのお話で、それ以来お気に入りの商品となり、毎週購入しては、そのままの味を楽しんでいます。

▲後藤さん

6ページのクイズの答え

2010年度前期
福祉活動組合員基金助成団体決定！

一人ひとりが参加して、広く薄く支えあう参加型地域福祉の取り組みを推進するための財源の一つが、福祉活動組合員基金（100円基金）です。この基金は、地域で福祉やたすけあいの活動をしているグループや団体（拠出している組合員が所属）に助成されています。2010年度前期の助成が決定しましたので、助成するにあたっての審査を担っている基金運用委員会の様子と助成が決定した団体をお知らせします。

団　体　名	助成金額	主な活動内容
		地　域　団　体
ＮＰＯこうし（合志） ハッピークッキング	300,000	平成14年４月、合志市保健福祉センターにてボランティア登録。子育て支援として「子連れママのクッキング」などの実施と並行して、高齢者や障がい者（児）のための料理教室も行っています。
ＮＰＯ法人 ル・シエル　くまもと	300,000	学齢期を過ぎたアスペルガー症候群・高機能自閉症を持った当事者とその家族に対して、交流できる居場所を提供し、自立・就労・社会参加に向けた支援と、啓発活動を行っています。
森遊夢楽	300,000	山鹿の山小屋を拠点として、地域の森林・竹林の保全向上活動を行っています。子どもから高齢者まで、木工教室や炭づくり、たけのこ掘りなどを通して、自然に親しむ取り組みを進めています。
ＢＥ＊ＮＡＴＵＲＡＬ	300,000	グリーンコープの子育てサークル「グリーンフレンズ」で活動を共にした母親たちで立ち上げた団体です。「アロマ」「布ナプキン」「みそづくり」など、多岐にわたり活動しています。
特定非営利活動法人 フリースクールくまがく	300,000	引きこもりの生徒に対して家庭訪問型のドッグセラピーを行っています。犬と触れ合うことにより部屋から外に出るきっかけになることも多く、また高齢者施設の慰問も行っています。
チャイルドライン くまもと	200,000	18歳までの子どもからかかってくる電話を通じて、子どもの悩みに耳を傾け、気持ちに寄り添いながら、子どもの自尊心の回復に向けたサポートを行っています。
劇団Ｕ	300,000	平成５年に植木町の有志で結成した劇団で、毎年定期公演を続けている他、依頼による施設訪問などを通して、地域に密着した活動を行っています。「肥後にわか」の伝承にも力を入れています。
保育所ちびっこランド ましき園	300,000	平成19年11月に益城で開園した保育園です。役場に保育園の案内を置かせてもらったり、近くの学校の運動場を借りたりと地域に根付きつつあります。グリーンコープのお菓子をおやつに使っています。
秋津レークタウン 生き活き夢くらぶ	150,000	平成14年に地域住民の有志を中心として発足した団体です。子育て支援から高齢者支援まで「ふれあいかん」を拠点に地域のたすけあい活動を行っています。
		生　協　関　係
09年度人材育成助成 関係費用	1,828,370	資格取得費用（訪問介護員２級、介護福祉士、ガイドヘルパー）および県認知症介護研修費用
総　合　計	4,278,370	

視察風景

前期助成審査を終えて

基金運用委員長
渡邊　寛子

運用委員会では、まず前期９地域団体の申請書類を読み込んだ後、視察に伺い、質疑応答を重ねました。それぞれに状況は違っても、温かな心と強い思いを持って取り組まれている活動内容を確認できた視察でした。

また、ワーカーズの申請は代表のお話により、生協が進め取り組んでいる地域福祉の今を伺い知ることができました。

以上の過程を経て、大切な基金の運用について様々な観点から時間をかけ討議し、助成判断をしました。審査を通して私たちの１００円が高齢者介護から子育て支援まで、地域のたすけあい、ささえあいに有効に活かされていると実感しています。

阿蘇グリーンストック運動との出会いから20年

～阿蘇の緑と水を守るために私たちにできることを進めています～

１９９０年代初め全国各地でリゾート開発が進み、自然環境の破壊や汚染が社会問題となっていました。熊本でも阿蘇の外輪山の一角にゴルフ場建設が計画され、地域住民の猛烈な反対運動が起こりました（結果は計画断念）。当時のグリーンコープくまもとでも、その反対運動に連帯して取り組み、熊本大学の佐藤教授が提唱するグリーンストック運動に出会いました。

阿蘇の緑の大地（草原・森林・農地）を後世へ引き継いでいくために、農村・都市・企業・行政など県内有志団体の連携により、１９９５年、㈶阿蘇グリーンストックが設立されました。

グリーンコープくまもとでも、その財団設立のために、全組合員へ基金を呼びかけ約５０００万円の寄付金が集まりました。また、阿蘇北外輪山地域の山林・農地12haを取得し、「元気村」と名づけ、組合員の農畜産体験の場として活用しています。

さらに、グリーンストックの「農村漁村地域連携プロジェクト」の取り組みに連携して、阿蘇湯浦・西湯浦地域との交流を図り、地元地域の活性化、ひいては阿蘇の緑と水を守る取り組みを進めています。この夏の農畜産体験の様子を紹介します。

８／３　元気村で収穫体験とゆたっと村で交流会

組合員理事とその家族で収穫を体験しました。グリーンストックの畑では、ブルーベリーとブラックベリーを、元気村では、３，４月に植え付けたじゃが芋やかぼちゃを収穫しました。

子どもたちも、暑さの中バテることなく、泥んこになりながら収穫を楽しみました。その後、湯浦・西湯浦地域のみなさんと、ゆたっと村で、婦人部の方が作られた郷土料理（冷汁、煮しめ、地きゅうりの漬物、たけのこの和え物など）を食べながら楽しく交流しました。

自然、地元の野菜や加工品のおいしさを堪能した１日でした。

ブラックベリーを収穫

掘りあげたじゃが芋を拾う子どもたち

交流会では婦人部の方から料理法を伝授

９／17　阿蘇湯浦・西湯浦地域郷土料理教室 元気館しみず２階にて

湯浦・西湯浦地域の婦人部の方４人を講師に迎え料理教室を開催しました。地元とグリーンコープの食材・調味料を使い、煮しめは大きな鍋で、油あげは１枚のまま、かまぼこは板をつけたままなど地元で作られている料理法で豪快に調理されました。味付けも舌で覚えた味を目分量で！出来上がったそのおいしさにみんな感動でした。他にのっぺ汁、笹団子も作りました。

しみず店では、新米「阿蘇ほたる米」、地きゅうり、料理教室でつくられた郷土料理などが試食に出され、阿蘇農産品・農産加工品直売会が行われました。

「こんなきれいな水と肥えた土で育てられたお米や農産物が、今後くまもとの独自品としてたくさん取り扱えるようになればいいなと思います」と話す久米田理事長（写真右）

「阿蘇の外輪山の湧き水や雨水などの岩清水が小川をつたい麓の川へ、そして田んぼ、畑へと流れています。６月になるとそこにはたくさんの蛍が飛び交います」と話す地元生産者

阿蘇の農産品を直売

「阿蘇ほたる米」の生産者や地元の区長さんも一緒に昼食交流会

「お煮しめのだしは煮干と昆布としいたけ、味付けはきびざとうと薄口しょうゆだけです」とおいしく作る調理法を話す婦人部の方

アニョハセヨ!!

ようこそくまもとへ
韓国ドゥレコープ連合会と交流

8月31日（火）～9月3日（金）、韓国・ドゥレコープ連合会の組合員17名の皆さんがグリーンコープに研修に来られました。
研修のテーマは、グリーンコープ運動の理念や、組合員による機関運営、ワーカーズと福祉活動など。意欲的に視察・研修された後は、元気館しみずで組合員との懇親会が開かれ、交流を深めました。

食べもの運動推進会議を見学

組合員が組合員に利用を呼びかけるために、たくさんの情報を共有する場である「食べもの運動推進会議」を視察。久米田理事長より、組合員が商品の検討に関わり、国産にこだわった商品の実現に向けて活動していることが説明されました。ドゥレコープの組合員からは活発に質問が出されました。

商品のアピールに一斉にカメラが…

質問するドゥレコープの組合員

手作りのポスターを活用しながら、県北地域本部の開発商品を説明する岩崎委員長

本部前で記念撮影

当日の質問

▶ポスターなどはいつも作っているのか、今日のために準備したものなのか？
▶会議は月に何回くらい？
▶１年間に何品くらい検討するのか？
▶売り上げは組合員が責任をとるのか？

組合員との交流

開発商品をカメラに収めるドゥレコープの組合員

キーボードを弾きながら、韓国の歌でおもてなしする久米田理事長

しみず店の刺身とオードブルで楽しく交流

交流会の感想

▶生協の仕組みも考え方も違うけれど、生協が好きで活動しているのは同じだと思った。（グリーンコープ組合員）
▶裏表なくとても歓迎してくれてうれしかった。（韓国組合員）

利用普及推進委員会発

NO.4 産直びん牛乳

自信を持っておすすめします！

産直びん牛乳は72℃15秒間のパスチャライズ殺菌なので、生乳の風味が残っていてとてもおいしいです。しかし、この殺菌を行うには細菌数の少ない良質な生乳であることが絶対条件です。そのために酪農生産者の皆さんは、牛の健康管理と共に、朝夕1日2回の搾乳の前に一頭一頭のお乳をタオルできれいに拭いています。このタオルは毎年、組合員から生産者へ『タオルを贈る取り組み』で贈っています。今年も行いますので、生産者へのメッセージと一緒にご協力をお願いします。そして、**安心・安全でおいしいびん牛乳をいっぱい飲んでください。**

ヒントは左をよんでね

知ってるかな？ クイズ

産直びん牛乳の母牛の搾乳は、１日何回行うでしょうか？

①朝だけの１日１回
②朝夕の１日２回
③４時間おきの１日６回

答えはプラカードを持った元気くんを探してね！

グリーンコープ

お店に行こう！

桜木店の巻

・熊本市花立4丁目9−33
・096−360−1021
・営業時間 10:00〜19:00
日曜定休　祝日営業

お店紹介もいよいよ最終号の第５弾！

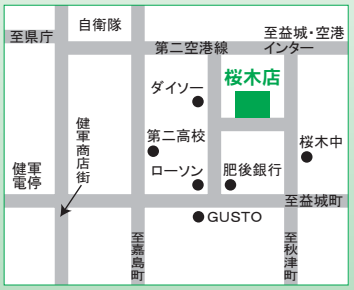
トリを飾るのは桜木店です。

桜木店店長
木村 早苗さん

ここに店を構えて16年。ほぼ毎日、足を運んで下さる組合員さんもたくさんおられ、地域に根付いたお店になっていると感じています。

現在7名のワーカーで運営しています。小さいお店ですが、笑顔で接するをモットーに、組合員さんとのコミュニケーションを大切にしています。

会話を楽しみながら、小さいお店だからこそできるアットホームなお店を組合員さんと共につくっています。



♡アットホーム♡

～組合員さんから～

「ワーカーさんがみんなニコニコ笑顔でとても親切です」
「いつもいるワーカーさんがいないと心配します」
「ワーカーさんとの会話を楽しみに来てます」
「商品の品質がよく新鮮で安心して買えます」

～ワーカーさんから～

「いつも来られる組合員さんの顔が見えないと心配です」
「組合員さん同士でこれがおいしいよなどと宣伝していただき助かっています」
「お目当ての商品がなかったということがないように、商品の品揃えには気を配っています」

組合員とワーカーの会話が弾む、とってもアットホームなお店です。若いお母さんたちからも「話を聞いてもらってすっとしました」という声が！

曜日ごとの日替わり特価商品や、スタンプ２倍などのお楽しみ企画も満載。是非ご来店を！

予告コーナー

10/11 ～ 11/6	10/29 ～ 10/31	11/5 ～ 11/7	11/26
（桜木店）	（しみず店・平成さくら通り店）	（荒尾店・長嶺店）	（しみず店）
ハム・ソーセージ、化粧品利用普及	秋の収穫祭	秋の収穫祭	ジョイ講座　味噌づくり

こんにちはワーカーズです ⑦

八代で福祉センター夏祭り

「ふくしサービスセンターそよ風」「デイサービスセンターゆるりの家・八代」「グループホームほのか・八代」を運営しているたすけあいワーカーズ菜の花（八代）は、福祉センターとして初めての夏祭りを行いました。今年４月に開所した「ほのか」の運営協議会の場で、協議委員をしていただいている地域の方から「ここも祭りをしたらもっと地域に知られるのにねー」と言っていただいたことから、さっそく実施が決定！当日は「夕方薄暗くなってから、真っ暗になる前まで」ヨーヨー釣り、ボウリングゲーム、カレーライスやたこ焼きや綿菓子など、また飛び入りで「よさこいソーラン踊り」やスタッフによる和太鼓の演奏等々。この日は、ワーカーズの地域交流会にも位置づけていたので、共同購入ワーカーズレインボーと配食ワーカーズパセリからもワーカーが来て、賑やかな祭りになりました。「ほのか」のご利用者、ワーカーやその家族など、最後の花火までの１時間あまりを、暑い夏の思い出として満喫しました。

よさこいソーラン踊り

夏祭りを楽しむ入所者の皆さん

ワーカーズ事務局　宮本 京子

GCくまもと 独自品

くまもとのおいしさを お届けいたします

●申込書提出日：
10月25日（月）～10月30日（土）
●配達日：
11月 8日（月）～11月13日（土）

ご注文は32号注文書で！

特別申込欄に4桁の注文番号をご記入ください。

●ブルーベリージャム

蘇陽高原産の
完熟ブルーベリーを使用。

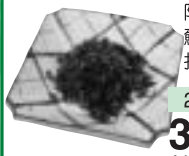
180g
472.50円
（本体価格450円）
9353 月1回

●こいくちしょうゆ

旨み成分たっぷりの
本醸造醤油。
ブラジル産nonGMO
脱脂加工大豆使用。

1.8リットル
567.00円
（本体価格540円）
9362 月1回

●たかなめしのぐ



阿蘇地方で栽培された「阿蘇たかな」を本漬けし、生協指定の調味料で味付け。

200g
315.00円
（本体価格300円）
9357 月1回

●釜炒り矢部茶（農薬不使用）

矢部町の通潤農園で
栽培された茶葉を使用。

100g
567.00円
（本体価格540円）
9354 月1回

●国産紅茶（農薬不使用）

水俣の山間地で無農薬栽培された緑茶用茶葉を使用。

80g
472.50円
（本体価格450円）
9355 月1回

●なたね油

国産（一部オーストラリア産）の種子を圧搾法で搾り、湯洗いのみで精製。

1.65kg
981.75円
（本体価格935円）
9363 月1回

●軍 手

熊本菊陽学園（知的障がい者施設）の応援企画。
綿・レーヨン・アクリルの混紡糸5本を使用して丈夫な仕上げ。

1ダース
609.00円
（本体価格580円）
9365 スポット

●完熟トマトジュース

阿蘇一の宮産のトマト「桃太郎」を原料に、1本に約12個を使用。

1リットル
787.50円
（本体価格750円）
9359 月1回

●ブルーベリーサワー

蘇陽高原産の
完熟ブルーベリーを使用。
甘さ控えめ。

720g
840.00円
（本体価格800円）
9356 スポット

●支援コーヒー（豆）

200g
693.00円
（本体価格660円）
9360 月1回

豆

ブラジルのジャカランタ農園でつくられた有機栽培コーヒー。
チェルノブイリ原発事故による病気で苦しむ子どもたちへの救済カンパ100円が含まれています。

●支援コーヒー（粉）

粉

200g
693.00円
（本体価格660円）
9361 月1回

編集後記

男の子はどうしてこんなにカードが好きなんだろう。我が家の二人も御多分にもれずカードコレクター。何種類ものカードを商業ベースに乗せられ、次々に欲しがる。その割りに扱いはぞんざいで、親の目にはお金のかかったゴミにしか見えない。しかし、何百枚（それ以上かも!?）とあるカードを、どちらの物かちゃんと把握している記憶力には恐れ入る。その能力、もっと違うところで発揮して欲しいなぁ、と思っている親は私だけじゃないはず…。（面木）

もしもし電話コーナー

お金の問題で困っていませんか？
まずはお電話下さい
生活再生相談室
☎096-243-2100
開設曜日…月曜～金曜
第3週は月曜～土曜
開設時間…9時30分～18時

ふくし情報でんわ
フリーダイヤル 0120-540-294
FAX 096-338-4251
開設曜日…月曜～水曜（祝日は休み）
木，金曜は留守電対応
開設時間…午前10時30分
～午後4時30分
携帯電話の方は 096-337-7226

GREEN
くらしアップ情報誌「くまもと」
フリーダイヤル 0120-51-5141
住宅リフォーム、エアコンクリーニング、引越しなどについてはお気軽にご連絡下さい

発行 グリーンコープ生活協同組合くまもと

発行責任／理事会
編　　集／機関誌編集室
発 行 所／〒860-0056
熊本市新土河原2丁目1-1
☎ 096-324-8118㈹
FAX 096-324-8123
印 刷 所／ホープ印刷㈱

■県北地域本部　14,638名
■県央東地域本部　28,082名
■県央西地域本部　18,121名
■県南地域本部　8,440名
合　計　69,281名
（9月20日現在店舗組合員を含む）